季刊

はまかぜ

国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
日本医療機能評価機構・平成16年認定
Hamanomachi Hospital
2014 OCT. 第56号

C O N T E N T S

■ 専門の立場から
「これからの糖尿病・内分泌内科」……平松　真祐
■ 血液内科病棟について……衛藤　徹也・深川奈穂子
■ 医師に対する緩和ケア研修会……永山　淳
■ 外科フォーラム……大城戸政行
■ 市民公開講座……地域医療連携課
■ 患者アンケート……サービス向上委員会
■ 外来診療担当医一覧

（写真提供：谷口良雄／中央手術部部長）

理　念

『病める人の身になって、
心のこもった最良の医療を目指します』

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

Hamanomachi Hospital
〒810-8539　福岡市中央区長浜3丁目3-1　TEL 092・721・0831　FAX 092・714・3262
http://www.hamanomachi.jp

これからの糖尿病・内分泌内科

糖尿病内分泌内科
部長
平松 真祐

糖尿病患者の血糖コントロール状況は、DPP4阻害薬の他、2014年に登場したSGLT2阻害薬などの新規抗糖尿病薬の出現や、チーム医療としての糖尿病治療メソッドの向上に伴い、改善しつつある一方で、多くの患者がいまだ治療目標に到達していない現況にあります（図1）。さらに、2012年の調査で糖尿病が強く疑われる人のうち、「ほとんど治療を受けていない人」の割合は、男性27.1%、女性31.3%であり、それぞれ前回調査と比較して、10.7ポイントと10.0ポイント減少しているとはいえ、依然として30%以上の患者が未治療の状態にあり、未治療の患者さんをいかに減らすかが国民健康上の大きな課題となっています（図2）。

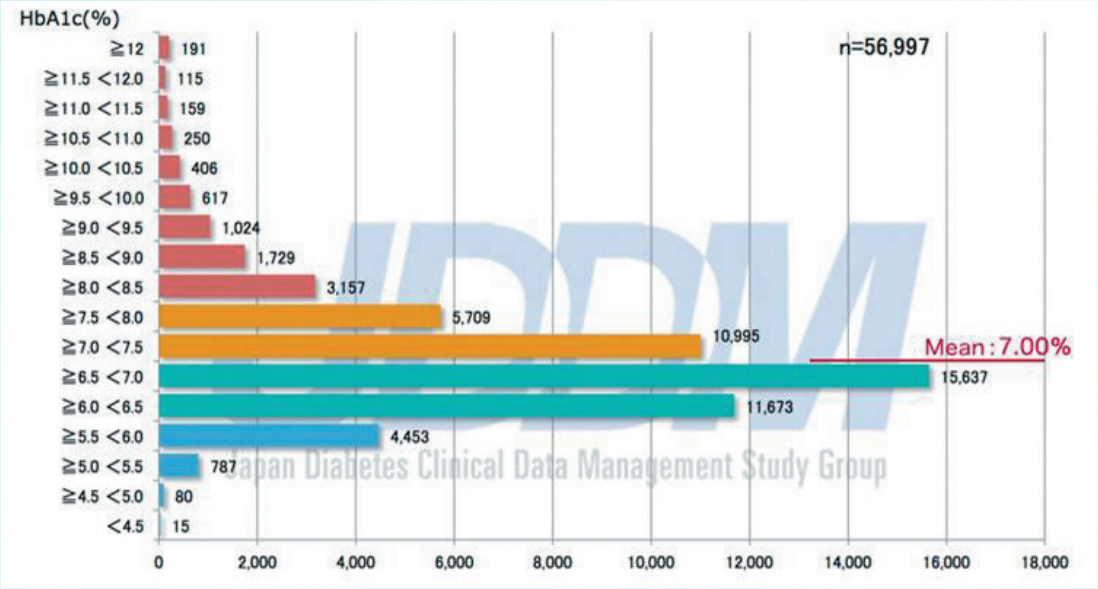


図1　糖尿病患者のHbA1c（糖尿病データマネジメント研究会）

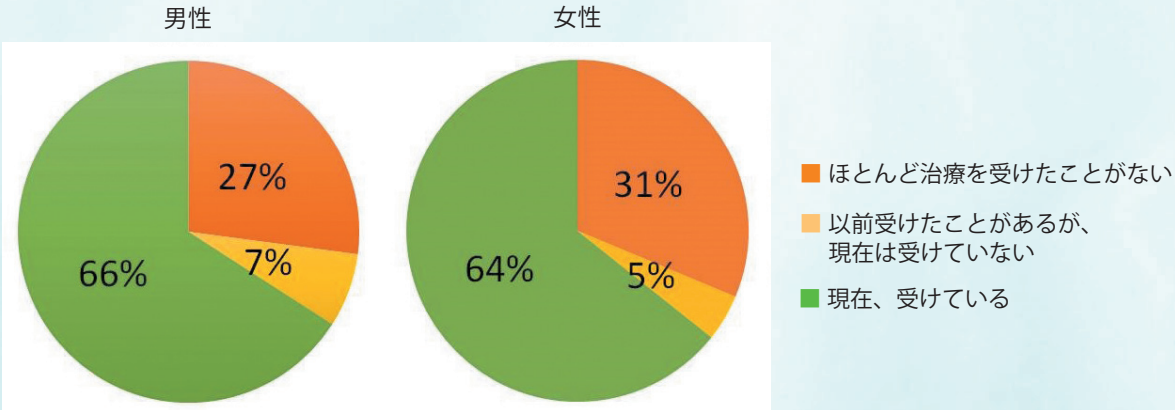


図2　糖尿病が強く疑われる人の治療状況（2012年国民健康・栄養調査）

さて、総合病院における糖尿病診療は、これまでの血糖コントロールのための教育入院や糖尿病外来に加えて、他疾患加療を目的に来院した患者さんの血糖値管理が重要な診療課題となっています。このような中、これまで糖尿病と診断されていたにもかかわらず放置していた患者さんが、糖尿病以外の疾患の治療のために病院を訪れた際に、糖尿病の治療を勧められ、治療に取り組み始めたという場面に多く出くわします。さらに、他疾患の加療の経過中に糖尿病が発見され、そのことを契機に治療が開始される場合も少なくありません。当科では、このような他疾患加療のために来院した患者さんの糖尿病治療に関わることで、地域の糖尿病患者の健康レベルの向上に貢献できるのではと考えています。

さらに、虚血性心疾患や脳梗塞などの大血管障害の予後改善や、感染症の治療効果あるいは手術アウトカムの向上など、高血糖の是正が持つ意義は多岐にわたり、NST（栄養サポートチーム）やICT（感染コントロールチーム）とならんで、糖尿病治療チームは、これからの急性期医療を支えていく要素のひとつであると考えています。

当科では糖尿病とともに内分泌疾患の診療にもあたっています。内分泌疾患にはバセドウ病のように典型的な症状が出現する疾患以外にも、全身倦怠感、食欲不振、悪心、嘔吐などの不定愁訴が主訴となる症例も多く、さらに加齢とともに増加する糖尿病、高血圧、高脂血症、肥満、骨粗鬆症などの生活習慣病の背景に内分泌疾患が潜んでいる場合もみられます。

「突然の意識障害を主訴に救急搬送された汎下垂体機能低下症」

51歳の男性が突然の意識障害のため、入院となりました。検査で低血糖を認めましたが、インスリノーマを疑うような膵臓腫瘍は認めず、低血糖の原因は不明でした。入院後も意識障害を伴う低血糖発作を繰り返し、徐々に食欲は低下し、衰弱していきました。そんな中、二度目の発作の際の血液検査でコルチゾールが低値であることが判明し、副腎皮質ホルモン低下症と診断しました。下垂体MRIでは下垂体は菲薄化しており、負荷試験の結果、汎下垂体機能低下症と診断しました。ステロイドホルモンを投与した後、速やかに体調は回復し、無事に退院されました。現在、患者さんはステロイドホルモン補充に加えて、成長ホルモン補充も受けておられ、ホルモン補充療法開始後は、元気に過ごされています。

「脂質異常症精査の過程で発見された甲状腺機能低下症」

高LDLコレステロール血症に対して内服治療中に筋源性酵素（CPK）が上昇したため、61才の患者さんが紹介受診されました。高LDLコレステロール血症治療薬を内服していたため、副作用が出現し、横紋筋融解を来したと診断されたのです。患者さんによると、受診数ヶ月前から、下肢の筋力低下、頭髪の脱毛がみられるようになり、倦怠感が増してきたとのことでした。高コレステロール血症の患者さんの加療に際しては、二次性高コレステロール血症の除外が必須です。さらに、この患者さんは筋障害をきたしており、甲状腺機能低下症を疑い、甲状腺ホルモンを測定しましたところ、著しい甲状腺機能低下に陥っていたことが判明しました。甲状腺ホルモンの内服を開始したところ、検査値異常の改善とともに、下肢の筋力は徐々に回復し、（この患者さんは初診時、車いすで来院されましたが）治療開始数ヵ月後には歩いて来院外来するまで回復しました。さらに、かすかに残る程度の頭髪を帽子で隠すようにして来院していましたが、その頃には年齢相応の髪の毛が生えてきました。

このように見慣れた疾患や、原因の解明が困難な病態の裏に内分泌疾患が存在する場合があり、適切な診断と治療によって患者さんの予後に劇的な改善をもたらすこともできます。当科では糖尿病をはじめとした代謝疾患、そして内分泌疾患の診療を通して、地域医療に貢献していきたいと考えています。

血液内科病棟について

～無菌室から無菌病棟へ～

血液病科部長　衛藤　徹也
9AB病棟看護師長　深川奈穂子

はじめに

浜の町病院の血液内科病棟は 70 ～ 80 人の白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液悪性腫瘍、再生不良性貧血などの造血・免疫不全症の診療をしています。また、完全治癒をめざし、年間 60 例ほどの造血幹細胞移植も行っています。リンパ腫の化学療法では白血球が 1,000 以下、白血病では 500 以下、移植では 0 になり、感染症合併のリスクが高まります。

旧病院から無菌室を使い、このような患者さんの感染対策を行なってきましたが、当時無菌室は一般病棟の一角に作られており、白血球減少の期間中、無菌室に閉じ込められ、患者さんは非常に窮屈な思いを強いられてきました。新病院では無菌病棟となり、部屋から廊下まで無菌状態にでき、ラウンジといった寛ぎのスペースもでき、アメニティーは非常に向上しました。

今回は、新浜の町病院の無菌病棟ツアーに皆さんをご招待いたします。

無菌病棟のスペック

さて、無菌室とはいったどのようなものでしょうか？　無菌といっても完全無菌ではありませんが、基準を満たす空気の清浄化、陽圧にすることでの一定の空気の流れ、滅菌水が主な要件です。HEPA（ヘパ）フィルター（high-efficiency particulate air filter）という高い清浄度を保つ超高性能フィルターを使って空気を清浄化します。0.3 μm の粒子に対して 99.97％以上の粒子捕集率をもつフィルターです。医療以外にも高いクリーン度が要求されるような半導体や液晶、食品産業などにも用いられています。血液病棟では数μ m から数十μ m の真菌キャッチャーとして感染防御に大いに役立っています。

血液病棟は大きく 3 つのエリアに別れています（図 1）。無菌病棟 1（18 床）、無菌病棟 2（23 床）、一般病棟（非無菌病棟）（29 床）です。無菌病棟 2 は一般病棟の隣で、部屋は無菌仕様ですが廊下は違います。主に化学療法の患者さんが使用しており、必要に応じて売店や外出・外泊を許可しています。無菌病棟 1 は無菌 2 の奥にあり、部屋のみでなくエリア全体が無菌仕様で、主に造血幹細胞移植の患者さん用です。無菌病棟 1 と 2 の間には前室があり、入室する際にそこで手洗いや消毒を行いますが、衣服は特に着替えません。前室ではそれぞれの病棟への扉が同時に開かないように工夫がなされており、無菌病棟 1 の陽圧環境が保たれるようになっています（図 2）。

図 1

部屋は個室と 4 床部屋があります（図 3）。当たり前と言えば当たり前ですが、個室にはウォ

図２　前室から無菌病棟１を望む

図３

シュレット付きのトイレがついています（旧病院では一部のみでした）。意外に思われるかもしれませんが、新病院の無菌病棟は、一見一般病棟と同じにしか見えません。

新病院、無菌病棟での治療

化学療法、造血幹細胞移植を受けるような免疫力の下がった患者さんが合併する感染症は、必ずしも外部から菌を吸い込んで起こる気道感染症ばかりではありません。なので、無菌病棟になったからといって感染症がなくなるわけではありませんが、明らかに肺炎を合併する頻度は減りました。新旧の血液病棟に入院した患者さんから検出された菌の件数を比較すると、図４のように検出数が非常に減っていることがわかりました。このように無菌病棟は治療をより安全に遂行するために大いに役立っています。

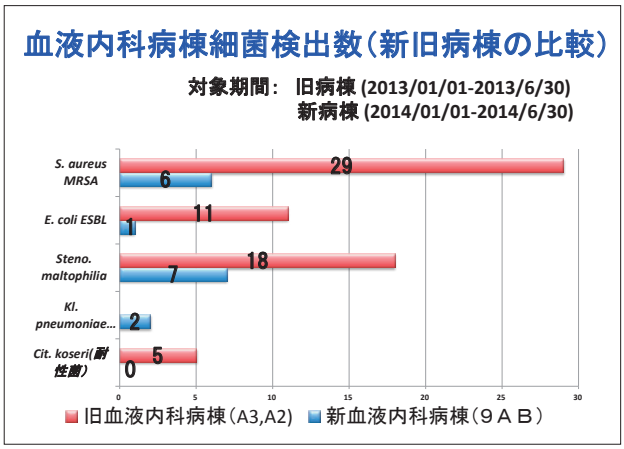


図４

新しい病院ですので、綺麗ですし、部屋自体もかつての牢獄？のような暗いイメージではなく、普通のホテルの部屋のようです。部屋の外にも出られるということで、心理面でのストレスがとても軽減されました。ラウンジでは季節毎の催しもあり（図５）、以前の移植を受ける環境から比べると格段に快適になっています。

図５　七夕祭り

感染症は移植の成績を下げるだけではありません。人によっては、移植より前の治療で重症感染症を合併し、移植そのものを断念せざるをえないということも起こりえます。新しく快適なこの無菌病棟で、患者さんが身体的にも精神的にも苦痛が軽減でき、多くの人が必要な治療を受けられ、そして治療成績も伸びていけるよう、大いに期待されます。

第6回　浜の町病院 医師に対する緩和ケア研修会 開催報告

★研修日時・会場

平成 26 年 8 月 9 日（土）13：30 ～ 20：00

平成 26 年 8 月 10 日（日）9：00 ～ 17：50

福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号

浜の町病院 3 階 研修講堂

★主催者

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院

平成 26 年 8 月 9 日（土）・10 日（日）の両日、浜の町病院 3 階研修講堂におきまして、第 6 回「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」（平成 20 年 4 月 1 日付け健発第 0401016 号厚生労働省健康局長通知）に基づく「医師に対する緩和ケア研修会」を開催いたしました。

緩和ケアにおけるベテラン講師 7 名の指導のもと、市内、市外から開業医 2 名、勤務医 13 名、看護師 8 名、薬剤師 2 名の計 25 名が研修を熱心に受講されました。

講師、受講生、スタッフの方など多数の皆さまのご協力をいただき、第 6 回 緩和ケア研修会を無事終了することができました。誠にありがとうございました。

（緩和医療内科　永山　淳）

症例検討

ロールプレイ

記念撮影　皆様お疲れ様でした。

■ 第1回 浜の町 外科フォーラムを開催しました

平成 26 年 8 月 19 日 19 時から浜の町病院 3 階会議室において病診連携カンファレンスを開催いたしました。7 名の先生方と院内から消化器内科、腫瘍内科、病理、放射線科など 28 名の医師が参加し、ご紹介いただいた症例の検討会をおこないました。今回は「脳転移を契機に発見された乳癌と肺癌の同時性 2 重複癌」「化学療法により切除可能となった進行胃癌」「PET 健診で指摘された膵体部腫瘤」の 3 例を呈示し、通常の学会形式の発表ではなく意見交換を中心とした双方向的な勉強会を試み活発なご意見をいただきました。今後も会を継続していく予定ですので興味のある先生方は是非ご参加ください。またお困りの症例がありましたらご相談いただければ幸いです。

登録医の先生方との診療連携を円滑にすすめる所存ですので今後も変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（外科部長　大城戸 政行）

市民公開講座を開催

平成 26 年 7 月 29 日、当院研修講堂で“気をつけたい夏場の病気”をテーマに市民公開講座を開催いたしました。

当日は、当院・廣津こう平救急センター部長の「理解が深まる『熱中症』の理屈」及び臼井 真循環器科部長の「夏場に気をつける循環器疾患について」の講義を行いました。

参加者からは活発な質問もあり、当日行ったアンケート調査では、わかりやすく良い勉強になったので次回も是非参加したいとの感想をいただきました。今後も定期的に開催する予定です。

次回の開催は、

平成26年10月20日（月）

当院3階研修講堂

13：30～受付　14：00～開始

テーマ：「気をつけたい秋冬の病気」

第1部　14：00～14：40

「秋・冬の救急疾患」

救急センター部長　廣津　こう平

第2部　14：40～15：20

「インフルエンザとノロウイルス

～かからない・広げない方法を身につけよう！～」

感染管理部長　内田　勇二郎

＊事前の申し込みは不要です。直接3階研修講堂にお越しください。多くの皆様方の参加をお待ちいたします。

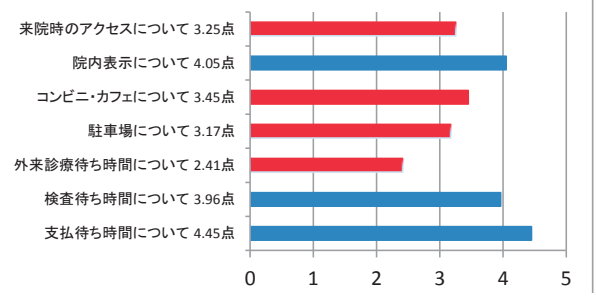
（地域医療連携課）

■ 外来・入院患者さんへのアンケート調査結果

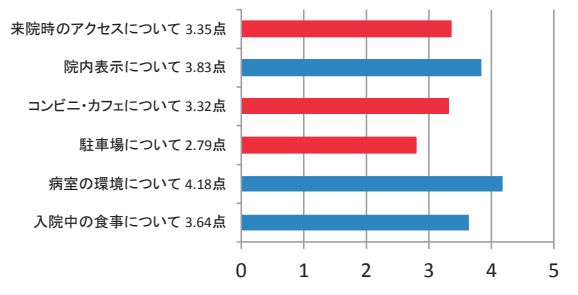
平成 26 年 6 月、外来患者 563 名（有効回答 361 枚）・入院患者 226 名（有効回答 190 枚）にアンケートを行いました。

※各項目 5 段階で評価。5 点を最高点とし、平均値を算出しています。

【外来アンケート結果】3.5点以下を赤線にしています。



【入院アンケート結果】3.5点以下を赤線にしています。



新病院へ移転後、8 ヶ月が経過し 6 月に外来・入院患者さんを対象にアンケートを行いました。

待ち時間や施設・病室の環境についてはおおむね高い評価をいただきましたが、カフェ・駐車場料金については、今後改善していくよう検討します。

（サービス向上委員会）

国家公務員共済組合連合会　**浜の町病院外来診療担当医**

■救急患者紹介連絡先　月～金（8:30～17:15）　Tel 092-721-9991（連携課直通）／ Fax 0120-721-991（連携課直通）
上記以外の時間及び土日祝　Tel 092-721-0831（病院代表）

（平成26年10月1日現在）

診療科	時間	専門	月	火	水	木	金
救急センター		総合診療部	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎
		救急	廣津こう平	廣津こう平	廣津こう平	廣津こう平	廣津こう平
内科 ※腫瘍内科の新患は月～金の午後	午前	血液新患	衛藤徹也	齋藤統之	衛藤徹也	平安山英穂	第1.3.5 吉田周郎
			–	–	–	–	第2.4 河野一郎
		血液再来	吉田周郎	衛藤・河野	平安山英穂	衛藤徹也	平安山英穂
		循環器新患	片岡仲	臼井真	臼井真	船越祐子	塩見哲也
		循環器再来	塩見哲也	船越祐子	藤田敦子	片岡仲	臼井真
		消化器	尾石義謙	瀬尾充	瀬尾充	松野雄一	尾石義謙
		腫瘍	三ツ木健二	田中吏佐	田中吏佐	田中吏佐	三ツ木健二
		肝臓	裵成寛	高橋和弘	具嶋敏文	高橋和弘	高橋和弘
		呼吸器	樋口和行	樋口和行	樋口和行	鶴田伸子	樋口和行
			前山隆茂	鶴田伸子	鶴田伸子	前山隆茂	–
		内分泌	–	平松真祐	平松真祐	–	平松真祐
			澤田布美	–	–	澤田布美	澤田布美
		腎臓	松本優子	吉田鉄彦	出口孝史	出口孝史	吉田鉄彦
		膠原	–	–	吉澤誠司	吉澤誠司	–
		感染	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎
		総合診療	内田勇二郎	内田勇二郎	当番医	内田勇二郎	当番医
脳神経センター ※脳外科（月・水・金）の午後、神経内科の午後は、紹介患者と予約のみ	午前	脳外科	松角宏一郎	手術 紹介新患のみ （当番医）	松角宏一郎	手術 紹介新患のみ （当番医）	松角宏一郎
			山口慎也		山口慎也		山口慎也
			–		–		–
		神経内科	松山友美	佐竹・松山	佐竹真理恵	佐竹・松山	佐竹（新患のみ）
	午後	脳外科	松角宏一郎	手術 紹介新患のみ （当番医）	山口慎也	手術 紹介新患のみ （当番医）	松角宏一郎
			山口慎也		–		–
			–		–		–
外科 ※木曜日の午後は Dr 大城戸への乳腺紹介のみ	午前	消化器・一般	許斐裕之	一宮仁	前山良	許斐裕之	一宮仁
			安蘓鉄平	安蘓鉄平	岐部晋	前山良	仲田興平
			–	–	–	仲田興平	–
		胸部	–	松本耕太郎	松本耕太郎	–	–
		乳腺・甲状腺	大城戸・安蘓	大城戸・安蘓	岐部晋	村上光彦	村上光彦
	午後	乳腺・甲状腺	–	–	–	大城戸政行	–
産婦人科 ※受付時間は月・水・金 8：30 ～ 11：00 火・木 8：30 ～ 10：30 産科初診のみ婦人科で受付	午前	産科	神保・河村	井上令子	内田・前原	神保友香	今井裕美
		婦人科	上岡陽亮	井上善仁	井上善仁	内田聡子	井上善仁
			内田聡子	磯邉明子	上岡陽亮	前原都	上岡陽亮
			前原都	河村圭子	河村圭子	河村圭子	内田聡子
			井上令子	神保友香	井上令子	–	河村圭子
			–	–	神保・今井	–	神保友香
整形外科 ※新患は紹介のみ 月・水・金は受付8:30～10:30	午前	整形外科	手術 紹介新患のみ （当番医）	馬渡太郎	手術 紹介新患のみ （当番医）	池村聡	馬渡太郎
				池村聡		井口貴裕	松井元
				松井元		光安浩章	井口貴裕
				藤村謙次郎		藤村謙次郎	光安浩章
				浜崎彩恵		–	–
形成外科	午前	形成外科	松本大輔	手術 紹介のみ（要 TEL）	松本大輔	手術 紹介のみ（要 TEL）	松本大輔
			東修智		東修智		–
泌尿器科 ※午後は予約と紹介のみ	午前	泌尿器科	小藤秀嗣	秋武（予約のみ）	小藤秀嗣	山﨑（予約のみ）	小藤秀嗣
			山﨑武成	–	山﨑武成	–	秋武正和
	午後	泌尿器科	小藤・山﨑（予約）	手術	小藤・山﨑（予約）	手術	小藤・山﨑（予約）
小児科 ※午後は予約のみ 内分泌第３水曜日と 循環器第４水曜日のみ（予約）	午前	小児科	松尾光通	園田有里	兒玉（腎）	武本環美	兒玉志保
	午後	小児科	兒玉志保	回診	武本（小児神経）	1ヶ月健診	園田有里
			予防接種	–	内分泌（第3）	循環器（第4）	健診・予防接種
耳鼻咽喉科	午前	耳鼻科	白土秀樹	白土秀樹	手術	白土秀樹	白土（予約再来）
			玉江（予約再来）	玉江昭裕		玉江昭裕	玉江昭裕
			–	岡正倫		岡正倫	岡正倫
			中野貴史	中野貴史		中野貴史	–
眼科	午前	眼科	肱岡邦明	手術 （当番医）	肱岡邦明	手術 （当番医）	肱岡邦明
			安里瞳		安里瞳		安里瞳
皮膚科（新患は紹介のみ）	午前	皮膚科	竹内聡	中尾匡孝	竹内聡	竹内聡	竹内聡
			中尾匡孝	岩﨑菜保子	中尾匡孝	岩﨑菜保子	中尾匡孝
放射線科	午前	放射線科	松浦隆志	松浦隆志	松浦隆志	–	–
			田中厚生	田中厚生	田中厚生	田中厚生	田中厚生
			陣内三佳子	陣内三佳子	陣内三佳子	陣内三佳子	陣内三佳子
		放射線治療外来	舛本博史	舛本博史	舛本博史	舛本博史	舛本博史
精神科 ※当院に入院中の患者のみ	午後	精神科	–	–	九大	–	九大
緩和ケア外来 ※原則として当院で診療を行っている患者のみ 14:30~16:30	午後	緩和ケア外来	–	永山淳	–	永山淳	–
健康医学センター（要予約）	午前	外来ドック	高崎智子	高崎智子	高崎智子	高崎智子	高崎智子
			落合早苗	落合早苗	落合早苗	落合早苗	落合早苗

＊受付時間：午前 8:30 ～ 11:00　　午後 1:00 ～ 2:30

●発行責任者／浜の町病院広報誌編集委員会
委員長　大石　潔